

東日本大震災支援活動の報告（速報第4号）

2011年10月25日

日本臨床発達心理士会 東日本大震災支援対策本部 <http://jocdp/saigai/>

東日本大震災支援対策本部第8回会議が10月8日に開催されましたので、ご報告いたします。



1. 石巻市、相馬市での支援（JDDネットの支援活動への協力）

10月23日宮城県石巻市かもめ学園において「あそびの広場」が実施されます。東北支部の伊藤あづさ、東京支部の堀江まゆみが参加し、現地の支援者のサポートを行います。

福島県相馬市「放課後支援ゆうゆう」への支援では、月に2回の地域連絡会議を実施しながら、現地の児童相談所や保健センターからの依頼に応じた知能検査や相談業務などにあたっています。

びえるプロジェクト

10月末までに8名の臨床発達心理士が活動に参加し、他職種支援者や現地の支援者との連携を深めています。

2. 全国大会における活動報告

2011年9月3-4日に横浜国立大学において実施されました全国大会において以下のような報告を行いました。

心理士会企画シンポジウム「被災地での支援、被災地への支援」

司会：西本絹子 話題提供：三浦暁子 熊本葉一 伊藤あづさ 前川あさ美 指定討論：堀江まゆみ
心理士会企画講演 「震災後の心のケアー子ども支援のための大人たちへの支援」

企画：災害・社会トラブル研修部会 司会：堀江まゆみ 講師：前川あさ美

3. 日本発達心理学会シンポジウム（2012年3月9-11日）

公募シンポ「災害と発達支援」

司会：長崎勤 話題提供：前川あさ美、三浦暁子、根が山光一 指定討論：本郷一夫

災害本部シンポジウム（0.5ポイント）

司会：堀江まゆみ 話題提供：西本絹子、堀江まゆみ、東敦子 指定討論：秦野悦子

成人高齢者災害支援シンポジウム

司会：成田健一（関西学院大学）

話題提供者：山本哲也（つくば国際大学）坂本佳代子（坂本福祉相談事務所）菅野久美（春園園）

指定討論：三宅篤子（帝京平成大学）井上勝也（駿河大学）大川一郎（筑波大学）

4. 教育・発達心理資格合同公開シンポジウム（3時間1ポイント）

2012年3月20日 13-16時「災害と教育 学校・地域を基盤にした継続的支援の仮題と展望」（予定）

場所：筑波大学134教室 主催：学校心理士会、臨床発達心理士会、特別支援教育士認定協会

5. 気仙沼市における心理士と学生派遣のプロジェクト

震災支援本部被災地支援部門では、宮城県気仙沼市の市民ボランティア団体への協力として、心理士を派遣し、職員の仕事の補助（プロジェクトA）や事例コンサルテーション、研修会など（プロジェクトB）を実施しています。前川と西本が夏季休暇中に学生を同行しての支援活動を行い、10月8、9日にはマザーズホームにて参加者主体の事例研修、ならびに「発達障害の理解・受容 本人と保護者の心に耳を傾けて」（講師：西本、司会：前川）を実施しました。

6. 老年行動科学学会との連携

9月11日の老年行動学会との話し合いに、前川あさ美、三宅篤子、成田健一、坂本佳代子が出席し、気仙沼の高齢者施設「春園園」または「ソレイユ」に連携して派遣を行う方針となりました。10月9日に坂本が視察、11月5日6日にて老年行動学会の山本哲也（つくば国際大学産業社会学部）氏とともに、日下、三宅、坂本が現地支援を行います。

7. 「東日本大震災中央子ども支援センター協議会」への参加

厚労省の働きかけで、日本子ども家庭総合研究所（社会福祉法人恩賜財団母子愛育会）に事務局を置く、「東日本大震災中央子ども支援センター」が発足し、44団体から構成される「東日本大震災中央子ども支援センター協議会」ができ、臨床発達心理士会にも参加呼びかけがあり、参加することとなりました。岩手、宮城、福島県の県センターと連携し、子どもの心の問題等の専門家の不足に対応することとなっています。

8. 災害支援基金について

9月までの活動を支部および災害支援本部が申請し助成審査します。今後とも継続的なご協力をお願いいたします。